

第3回 栗東健康運動公園整備懇談会(令和6年5月20日、21日開催) 当日質疑一覧

NO	意見	回答
(芝生広場)		
1	大屋根エリアは少々狭く感じられるが、栗東健康運動公園で想定している大屋根エリアの広さは？	260㎡程度を想定している。
2	カフェだけ(1社独占)で運営するのは難しいのではないか。複数のフードトラックを集めた方が、手軽に購入できる上、人も集まりやすいのでは	にぎわい施設の具体的な業態については公募で決まることになる。また指定管理者の自主事業として休日にフードトラック、キッチンカーを呼んでのイベントということは考えられる。
3	大屋根について、高低差を設けて、ステージにする等の工夫が必要。	大屋根は、夏季でも子どもが日陰の下で遊んだり、利用者がくつろげるような施設を想定している。
4	水をためるタイプの水遊び場は、子どもにとっては水が深く場合があり、危険である。スプリンクラーで水が出るタイプの水遊び場であれば、安全である。	にぎわい施設及び公園全体の管理運営を担う民間事業者との連携の中で検討していく内容になりますので現時点においては可能な限り多くの可能性を想定できる計画を検討しています。今後、事業者との協議においても住民の方々の意向を出来るだけ反映させた計画となるよう進めてまいります。
5	ターザンロープは子供が喜ぶ遊具だが、事故が起きやすいため注意が必要。	
6	野外ステージなどがあれば、地元高校による演奏会などを開催したい。	
7	ベンチなどは公園の端に配置するのではなく、広場内に寄せるべき。	
8	ベンチ、テーブル等はデザインにお金をかけるのではなく、清掃のしやすさと十分な数を用意することが重要。	
9	ベンチやテーブル、キッチンカーをまばらに配置し、大屋根もはらっぱの中心部分に近づけるべき(日陰でくつろぎながら子供を遊ばせたい)。	
(馬施設関連)		
1	・どのような粉じん対策をしているか？竜巻注意報もよくあるので、心配である。	散水にて対応をしている。巻き上がる砂埃は砂の質によってもピンキリである。(事業者)
2	・馬房の温度を一定に保つなど、対応が必要か？	エアコン等を配置するなど、施設により対応は様々。(事業者)
3	・公園の周辺には高校もあり、吹奏楽部も活動している。広場の子供たちの声も含め、馬施設の周辺の音は馬に影響を与えないか。	普通の会話は全く問題ない。馬施設の真横で楽器を鳴らすなどすれば、影響はあると思うが、自動車の音などの生活音は影響ない。近くのグラウンドで、スポーツの試合や太鼓の練習など行われているが、影響は感じない。(事業者)
4	・馬は人をよく噛んだりするのか？	触り方などもあるが、気性は馬それぞれ。噛む子は噛む。(事業者)
5	馬はどんな餌を好むのか。	バナナやリンゴなども好んで食べる。(事業者)
6	馬は毎日体を洗うのか。	毎日洗う。冬は足のみとか。(事業者)
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波自然公園がとても良い事例である。</li> <li>・気持ちよく使える美しいトイレが少ない。</li> <li>・年に数回、公園内でイベントを開催して欲しいが、その場合は1haでは狭いのでは。</li> <li>・遊具の規模感について、何人の子供もが一斉に遊べるような広場にするのか、想定を立てたうえで、遊具の設置数や規模感を考えるべき。</li> <li>・栗東市は子育て世代にもっと優しいまちづくりをするべき。この公園で実現することで、お金が回り、税収入が上がるのではないか。</li> <li>・栗東健康運動公園は、「ホースパーク」を前面に押し出すのではなく、子育て世代がしっかり使える公園として計画して欲しい。</li> <li>・公的な施設として「障がい者向け施設」を取り入れたいところだが、採算性が取れないことも理解できる。収益施設はカフェのみでは難しいだろう。2店舗以上つくるべき。</li> <li>・遊具のあるゾーンと芝生のみゾーンは明確な境界を作る必要はないが緩やかに分けるべき。</li> <li>・池へのゴミの投げ入れや、子供の転落が心配である。池は基本的には危険であるため、小さいほうが良い。</li> <li>・鯉への餌やりなどができると面白いと思われる。</li> <li>・栗東健康運動公園は市民のための公園であることは大前提であるが、民間事業者の参入を考えると、市外からも来園者が来るようにしないと運営が厳しいのではないか。</li> </ul>	